

挑戦から生まれるもの

三元ラセン管工業株式会社

ペローズフレキシブルチューブの製造メーカー、三元ラセン管工業。ペローズとは伸縮性・バネ性・気密性を生かした気密封止のシール材に使用される部品で、一般産業から先端産業まで幅広い用途がある。フレキシブルチューブとは柔軟性・自在性のある金属パイプのことで、水道管、原子力設備など、やはり使用範囲は広い。同社の持つ独自工法が短納期・高品質を実現し、特殊材への加工を可能にした。少量生産の製造を得意とし、顧客のニーズに幅広く柔軟に対応している。

挑戦の歩み

もともと同社はフレキシブルチューブを主力事業としていた。12年前フレキシブルチューブを主力とした経営に先行きの不安を感じていたなか、代表取締役になったばかりの高嶋博氏は新たな事業に挑んだ。ペローズを製造してい



確かな腕を持つ熟練工によるペローズの製造現場。

た知人の会社が事業を畳むことになり、「やるしかない」と、その技術を承継したのだ。いまでは、ペローズはフレキシブルチューブと並ぶ同社の主力事業となつている。

一般にはコンサルを頼りにするISOの取得もすべて自力で挑戦した。社内の意識改革にはじまり、休日社員とともに勉強会を開き、高嶋氏自らはISOの講座に出席して3ヵ月をかけたマニュアルを作成した。数年をかけた全社あげてのこの試みは、2000年にISO9001の取得というかたちで報われる。

オンリーワンのモノづくり集団へ

ITの活用にも積極的だ。若手経営者に混じり高嶋氏自ら率先してセミナーに参加し、IT活用につとめた。いまではネットでの売り上げは倍々で増加し、新規顧客

のほとんどがネット経由であるという。このような努力が認められ経済産業省の認定するIT経営100選にも選ばれた。何事にも挑戦していく高嶋氏の姿勢は人材育成にも大きな効果を生んでいる。資格・技能への挑戦を奨励し、大阪で19人しか選出されない大阪テクノマスターに社員が選ばれたのだ。もちろん他の社員も常に技能・資格取得に励み、技術力を磨いている。



様々な装置機械に使われるペローズ。

高嶋氏の挑戦は三元ラセン管工業を大阪でも有数の「オンリーワン」のモノづくり集団へと導いた。「日本のモノづくりの誇りを伝えたい」晴れやかな笑顔に秘める熱き想いは、常に明日へと向けられている。

編集部／有吉翔二郎



Company Profile

三元ラセン管工業株式会社

所在地: 大阪府大阪市城東区永田 1 丁目 2 番 37 号

TEL: 06-6968-2037 FAX: 06-6968-7475

担当者: 代表取締役 高嶋博

事業内容: ペローズ・フレキシブルチューブ製造

エミダス会社・工場詳細情報:

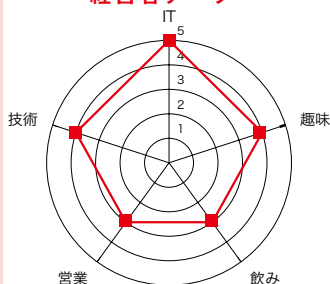
<http://www.nc-net.or.jp/emidas/gaiyou.php?66038>

※「エミダス工場検索」のキーワード検索「三元ラセン管工業」

で検索できます。

(写真／今 祥雄)

経営者データ



三元ラセン管工業株式会社
代表取締役 高嶋博

経営者 Profile

高校卒業後、測量会社に入社。測量士という異色の経験を経て、親類の営む三元ラセン管工業に入社。 昼は現場で技術を、夜は経理学校で経理を学ぶ生活を続け、84 年副社長、95 年に現職。ブログ「ペローズラボ ペローズ案内人」を運営。好評で Google でも上位に検索されるほどのアクセスがある。

- 趣味 仕事・ブログ
- 購読雑誌 日経 PC21
- 座右の銘 己一個の喜びに花は咲くものに非ず